

地域研究とキャリアパス —地域研究者の社会連携を目指して—

企画責任者: 日下部尚徳(大阪大学大学院人間科学研究科 日本学術振興会特別研究員DC2)
アドバイザー: 西芳実(京都大学地域研究統合情報センター 准教授)

- 東日本大震災以降、地域研究のみならず学術研究が社会にどう貢献できるかが厳しく問われている。
- 昨年度キャリアデザイン研究会では、地域研究者への社会連携に関するアンケート調査および、企業・NGO・政府機関に対するニーズ調査を実施し、報告書を作成した(右図: 西芳実 編著「キャリア・パスとしての社会貢献? 若手地域研究者の現状と社会連携の可能性」)。
- 本年度は、全国の代表的な地域研究者養成大学院を訪れ、大学院生と地域研究者の社会貢献とキャリアパスに関する意見交換を目的とするワークショップを開催する。
- その上で2012年2月に各地の大学から参加者を招き、東京で公開ワークショップをおこなう。これらを通じて地域研究者のネットワーク化と情報交換を促進し、社会に貢献する地域研究のあり方を提案したいと考えている。

